

羽村市版事業仕分け「公開型事務事業外部評価」 議事録

実施日	平成 23 年 11 月 13 日（日曜日）
会 場	市役所 4 階会議室（第 2 会場）
事業名	7 羽村遊遊カード（プリペイドカード）事業
出席者 （敬称略）	【コーディネーター】金子憲 【仕分け人】双木達雄、西野礼子、小山克也、栗原悦男、毛利ちひろ
担当課	教育部 スポーツ振興課
質疑応答	<p>（説明者）※配布資料に基づき説明</p> <p>（評価員）評価シートの課題の欄を見ると、担当課として廃止の方向で考えているように読み取れるが、廃止する方向で考えているのか。</p> <p>（説明者）券売機も古くなり、機器の修理・交換が不可能な現状では、このまま同じように続けていくには多くの課題がある。廃止するとしても、プリペイドカードの在庫をどうするか、すでに市民が購入しているプリペイドカードの取扱いをどうするかなどを考えていかなければならない。</p> <p>（評価員）近年は、プリペイドカードの需要は減り、JR 東日本が発行する Suica などの電子マネーが主流になってきていると思う。今後は、プリペイドカードに代えて、Suica などの電子マネーを検討してはどうか。</p> <p>（説明者）プリペイドカードの需要は減少の一途を辿っているため、新たな方法として Suica も検討したが、開発費やリース料がかかり、経費が非常に増えてしまうことになる。</p> <p>（評価員）評価シートには、水上公園と動物公園の販売枚数が記載されていないが、どのような理由か。</p> <p>（説明者）水上公園、動物公園でも販売を行っているが、販売がなかったということである。</p> <p>（評価員）プリペイドカードを回数券に変更した場合、窓口の対応はどのように変わるのか。</p> <p>（説明者）基本的には窓口での職員の対応は変わらない。</p> <p>（評価員）プリペイドカードは、各施設で使えるのか。</p> <p>（説明者）券売機は、現在、スポーツセンター、富士見公園クラブハウス、動物公園に各 1 台と水上公園に 2 台設置しており、プリペイドカードを使用できる。</p> <p>（評価員）プリペイドカードを廃止とした場合、将来の方向性は、回数券を考えているのか。それとも他の方法を考えているのか。</p> <p>（説明者）現金でチケットまたは回数券を購入する方法を考えている。</p> <p>（評価員）プリペイドカードの発行業務を指定管理者に委託することはできないか。</p> <p>（説明者）現在もプリペイドカードの販売をさせていただいている。指定管</p>

	<p>理者からは、カード自体を手作りで発行できるという話も聞いている。</p> <p>(評価員) 回数券は使い勝手があまり良くないので、利便性の高い方法を検討していただきたい。プリペイドカードの発行を委託することは考えられないか。</p> <p>(説明者) 現在、スイミングセンター、動物公園、水上公園で指定管理者制度を導入しており、3施設とも同じ指定管理者であれば、プリペイドカードの発行を委託することも考えられる。</p> <p>(評価員) 年間約120万円をかけて、収益増にどれ程の効果があるのか。</p> <p>(説明者) スポーツセンターやスイミングセンターではプリペイドカードの利用も多く、利用者増加に効果があると考えている。</p> <p>(評価員) 利用者の利便性とプリペイドカードの普及率を向上させることが必要である。プリペイドカードの種類が千円、二千元、四千元と3種類あるが、どの金額もプレミア分は10%であるので、料金設定に工夫が必要ではないか。</p> <p>(説明者) 施設によって利用料金が異なるので、利用者が使い勝手の良い金額を選んで購入している。</p> <p>(評価員) 先ほど評価員の意見にもあったが、プリペイドカードは時代にそぐわない部分もあり、120万円はコスト的に安くはない金額である。</p> <p>(評価員) プリペイドカード事業を廃止した場合、プリペイドカードの払い戻しは検討しているのか。</p> <p>(説明者) 事業を廃止する場合、プリペイドカードの販売期間と使用期限の設定及び廃止後の払い戻しについて検討しなくてはならないが、具体的には今後検討していきたい。</p> <p>(評価員) 販売できなかったプリペイドカードをどうするのか考える必要がある。</p> <p>(説明者) 販売できなかったプリペイドカードについても、今後、検討していきたい。</p> <p>(評価員) 使用期限を過ぎてしまった場合、現金で払い戻しをしなくても、金額分のチケットと引き換えとしても良いのではないか。</p> <p>(説明者) 廃止とした場合の対応については、今後、検討していきたい。</p>
<p>判 定</p>	<p>【評価結果：⑥】</p> <p>〔6人〕⑥廃止（ア：実施する妥当性がない）</p> <p>【主な意見】</p> <p>(1) 券売機の機能を維持できないのなら廃止すべきである。</p> <p>(2) 現行方式に代わる回数券やチャージなど新たな方法を検討すべきである。</p>

	<p>(3) 割引のある現在の事業の精神は生かしてほしい。</p> <p>(4) 窓口で利用券を販売するなどの方法も検討してはどうか。</p> <p>(5) カード作成にコストがかかりすぎている。</p> <p>(6) プリペイドカードは時代にそぐわない。</p>
--	--